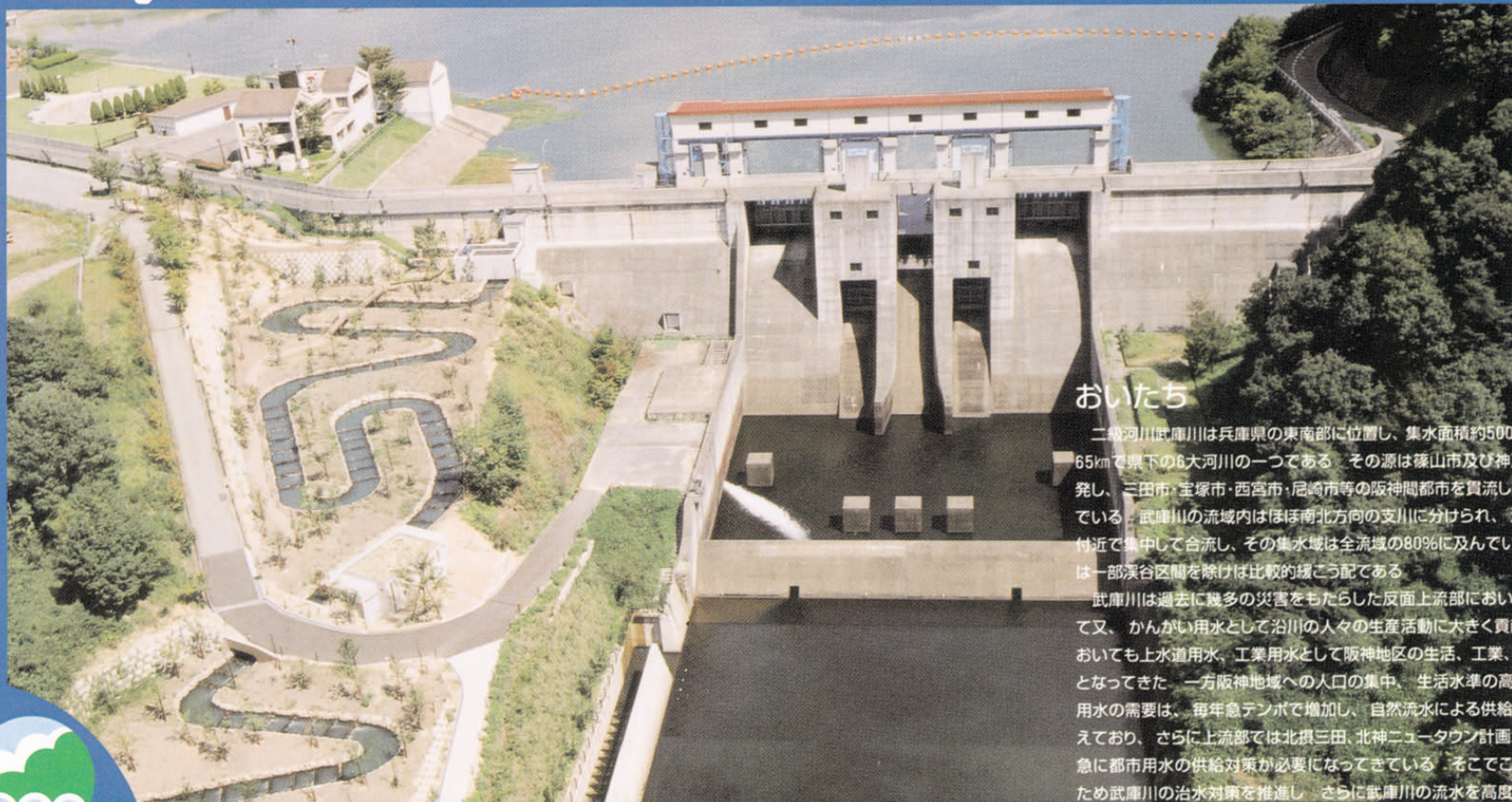


青野ダム



おいたち

二級河川武庫川は兵庫県の東南部に位置し、集水面積約500km²、流路延長約65kmで県下の6大河川の一つである。その源は篠山市及び神戸市六甲地区に発し、三田市・宝塚市・西宮市・尼崎市等の阪神間都市を貫流し、大阪湾に注いでいる。武庫川の流域内はほぼ南北方向の支川に分けられ、河口から約27km付近で集中して合流し、その集水域は全流域の80%に及んでいる。河川こう配は一部渓谷区間を除けば比較的緩こう配である。

武庫川は過去に幾多の災害をもたらした反面上流部においては上水道として又、かんがい用水として沿川の人々の生産活動に大きく貢献し、下流部においても上水道用水、工業用水として阪神地区の生活、工業、商業の発展の基となってきた。一方阪神地域への人口の集中、生活水準の高度化による都市用水の需要は、毎年急テンポで増加し、自然流水による供給は可能限度を超えており、さらに上流部では北摂三田、北神ニュータウン計画が具体化し、早急に都市用水の供給対策が必要になってきている。そこでこれらに対処するため武庫川の治水対策を推進し、さらに武庫川の流水を高度に利用して都市用水を確保するため、武庫川総合開発事業の一環として青野ダムの築造が計画された。

